

# 景況

レポート  
2022年4～6月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは前期比  
4.8ポイントの改善

業況DIは新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見られる中で、経済社会活動の正常化が進み、持ち直しの傾向にあります。全業種の業況DIは▲25.1で製造業が▲16.5、非製造業が▲29.4となりました。来期についても、製造業が▲11.6に対して非製造業が▲25.6となっており、やや改善の状況が続く見通しであります。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は更に長期化する見通しで、世界情勢は引き続き不安定な状況にあります。

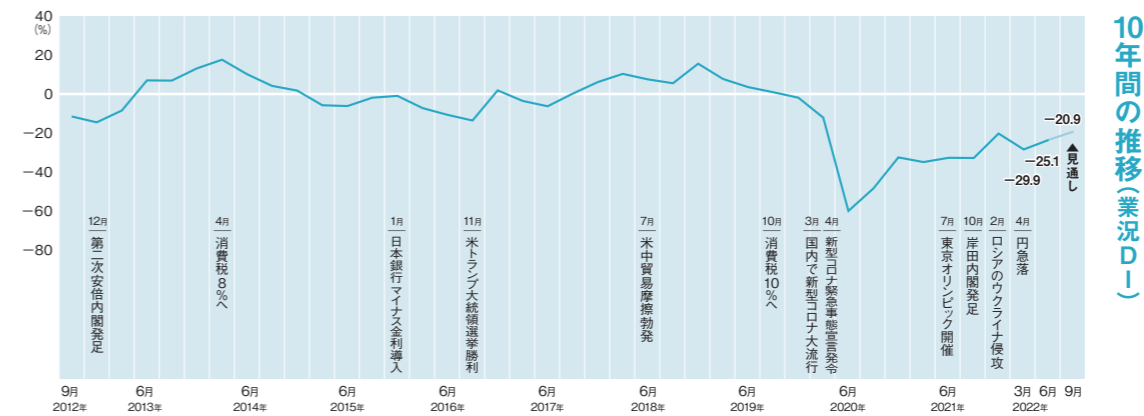
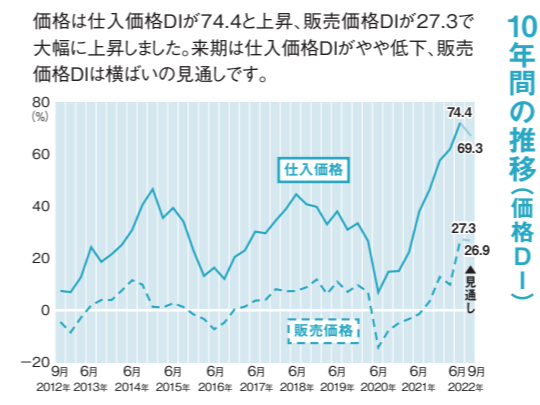
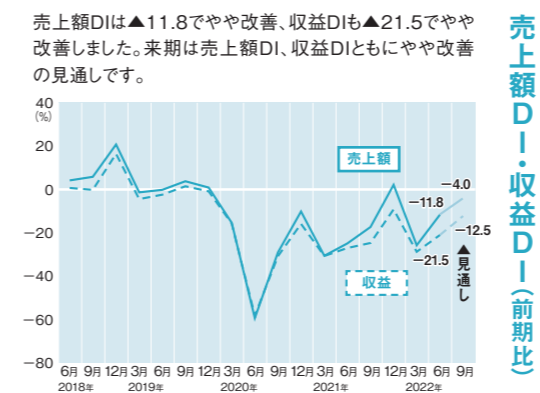
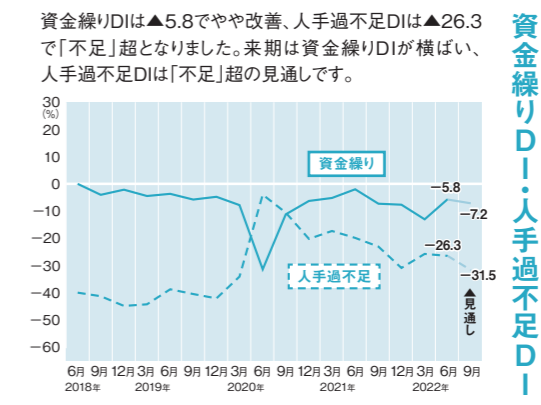
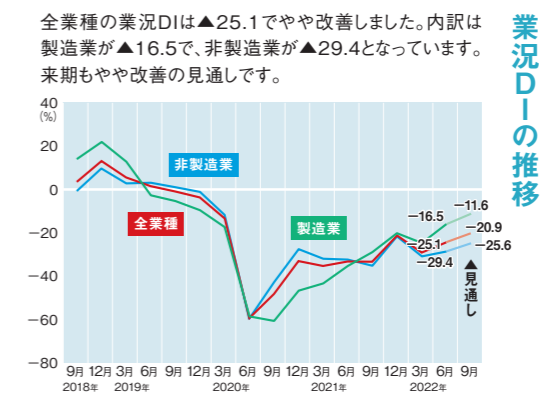
その他、中国上海のロックダウンの影響による部品供給の停止や物流の混乱、資源価格高騰による輸入物価の上昇、急激に円安が進む為替動向など下振れリスクを数多く抱えており、今後の推移には十分注意する必要があります。

調査要領	合計			小売業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
合計	1547社	501社	32.4%	396社	164社	41.4%	163社	41社	25.2%
製造業	396社	164社	41.4%	325社	102社	31.4%	116社	27社	23.3%
建設業	325社	102社	31.4%	202社	65社	32.2%	345社	102社	29.6%
卸売業	202社	65社	32.2%						

調査時点 / 2022年5月13日～6月1日  
調査依頼先 / 当庫取引先  
調査方法 / 郵送調査  
調査対象期間 / [今期] 2022年4月～6月  
[前期] 2022年1月～3月  
[来期] 2022年7月～9月  
分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

## 全業種総合DI

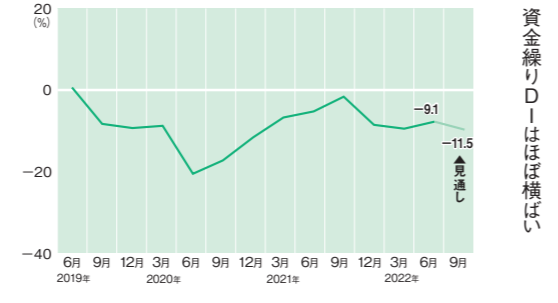
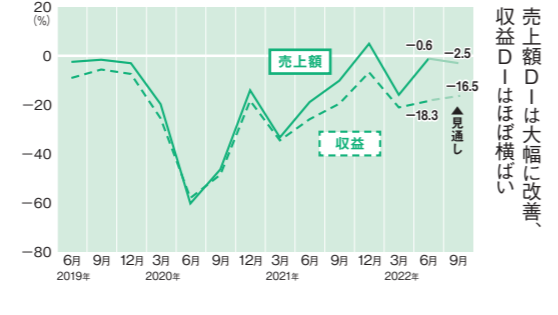
業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し



前期 傘  
今期 傘  
見通し 傘

## 製造業

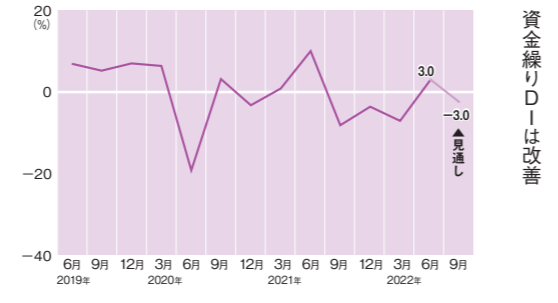
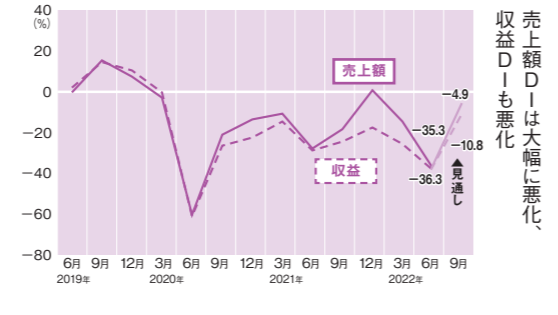
業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し



前期 傘  
今期 傘  
見通し 傘

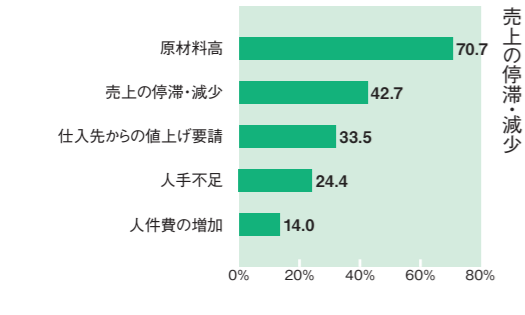
## 建設業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

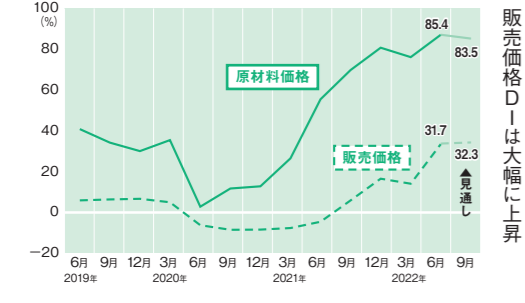


前期 傘  
今期 傘  
見通し 傘

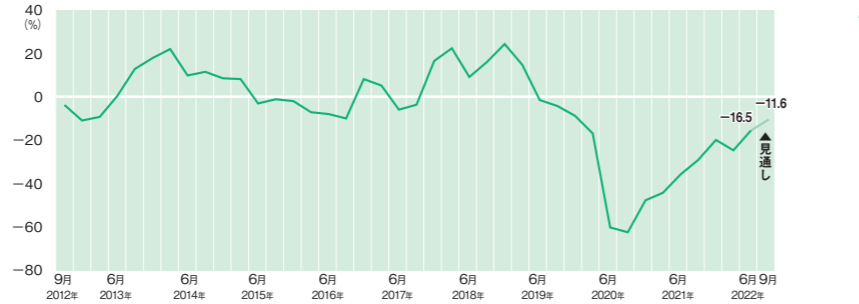
## 経営上の問題点



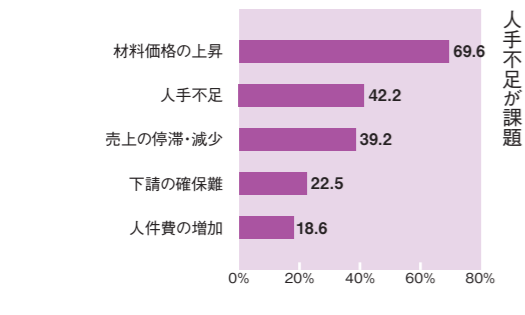
## 価格DI



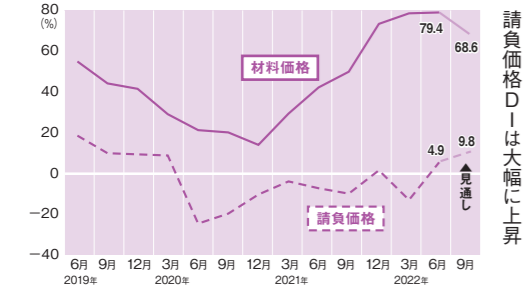
お客様の声  
原材料高騰により価格の値上げができる大手メーカーなどは有無を言わず大幅に製品価格を値上げしてくるが、中小企業はなかなか値段交渉に応じてもらえない。(尼崎市 日用雑貨品製造業)



## 経営上の問題点



## 価格DI



お客様の声  
材料価格、諸経費の増加により収益率が低下しており、その影響が経営を圧迫している。(尼崎市 土木、舗装工事業)

